豊かで充実した老後を
漁業者年金
ひとりは万人のために、万人はひとりのために

拓水

2月号　No. 365
一部　10円
（会員の購読料は指導事業経費より支払されています）

発行所　兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL　681－6954～7
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会

「兵庫のり」消費拡大キャンペーン
神戸・姫路で同時開催

神戸地区

去る二月一日（日）神戸・元町の大丸百貨店前において恒例の「兵庫のり」の消費拡大キャンペーンを実施した。

このキャンペーンは、兵庫県の基幹漁業であるのり養殖業が近時、最新技術の導入により年間十二億枚という全国第一位を誇る生産量となったものの、のり養殖業を取りまく環境は依然厳しく、生産・流通面に多くの問題を抱えている。特にここ数年の消費の停滞は今後ののり養殖業の振興を図る上で極めて深刻な問題となっている。そこで、栄養満点の自然食品ののりを消費者にもっと知ってもらい、節分の日に巻ずしの丸かぶりで厄払いとする風習にあやかってのPL作戦。

呼びものの〝巻ずし丸かぶり早食い競争〟では、男性、女性、アベックの各組に分かれて激しい戦いが繰り拡げられた。この〝巻ずし〟は、長さ三〇センチ、直径五センチ、のり三枚で約三合の御飯を巻き込んだ巨大なものだが、優勝した男性（二三才）はこれを約四分で平らげてしまった。

この他にも小学生による巻きずしの早巻き競争、赤鬼、青鬼のぬいぐるみも登場した豆まき、のりの康価販売等々が行われた。

また、三回に分けて行われたのりの無料配布には買物客らが行列をつくり、用意した三千セット（乾のり五枚、のり紹介のパンフレット、鬼面）もあっという間に無くなる盛況ぶりであった。

恵方（北北西）に向って〝丸かぶり競争〟（神戸大丸前）

姫路地区

姫路地区において第一回目ののり消費拡大キャンペーンが二月一日（日）姫路大手前公園で盛大に開催された。

このキャンペーンは姫路ののり養殖漁業者からの〝当地区でも消費拡大を図ってほしい〟との要望をうけ、兵庫県漁連、姫路漁民組合連合会が主催、姫路市、姫路農林水産事務所が協賛したもので、漁業者はもとより、水産関係者が一丸となって、取り組んだものだ。

乾のりと鬼のおめんの無料配布（五〇〇セット）を中心に、巻ずしの実演、手巻ずしの試食会（一〇〇〇食）、風船のプレゼント（一〇〇〇個）、のり、カキ、塩干物等の廉価販売等々の催しが行われ、安くて新鮮な水産物を手に入れようと集った客で終日にぎわった。特に、手巻きずしの試食をした人達からは「香りがよくて、ぱりっとおいしい。ぜひ、節分には手巻きパーティーをするわ」と兵庫のりのおいしさを実感する声があがっていた。

のり等の廉価販売も（姫路大手前公園）

第12回淡路のり品評会
秀作三八点が受賞

二月三日（火）、淡路水交会主催による第12回淡路のり品評会が洲本市・淡路水産センターで行われた。

これは、淡路島内において生産されるのりの品質改良及び養殖・加工技術の向上を図り、あわせて良質製品の生産意欲を高揚することを目的として例年開かれているもの。

今回は、淡路島内の各漁協傘下ののり養殖漁業者から一〇九点（一点＝一〇〇枚一束）もの出品が寄せられた。審査は、兵庫県立水産試験場長、洲本税務署長、淡路消費者団体連合会長など各方面代表の計十一名の審査員があたり、出品物の色、光沢、風格、味等の基準で公平な審査の上で協議がなされた。しかし一〇九点ともそれぞれが自信作であり、品質からも同等のため、審査員はかなり苦労していた様子。一次審査で五〇点に絞られた出品の中から採点方式により秀作三八点の各賞が決定された（受賞者は左表のとおり）。

なお、出品されたのりは、県漁連の協力を得て味付け加工した味付けのりを学校等へ無料配布する予定となっている。

審査講評

一、色調に関しては、地域差がほとんどなく黒味の強い製品も多かった。

二、小穴、挟雑物等はほとんど認められず、全般に自己選別が良く、仕立の良い製品で、著しい品質向上が認められた。

三、張賛冷凍網での一ないし三回摘みのものが多く、原藻の質がそろい、柔かさが認められた。

四、上位入賞の製品は採点差が極めて接近し、いずれも淡路のりを代表するにふさわしいものであった。これをモデルとして品質管理に心掛け、淡路地区ののり製品の一層の向上を望みたい。

第12回淡路のり品評会審査結果

賞	漁協名	団体名	代表者氏名
兵庫県知事賞	富島	幸成水産	田中　幸男
洲本税務署長賞	〃	瀬戸内〃	西條　正幸
兵庫県洲本農林水産事務所長賞	東由良町	森鉄〃	森下　勝
	富島	福吉〃	西條　嘉明
	湊	西口〃	西口　良和
兵庫県立水産試験場長賞	仮屋	三大〃	相田　勇
	炬口	炬口第一〃	山本　実
	育波浦	寺岡〃	寺岡　三恵
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	一宮町	実佳〃	石上　佳弘
	室津浦	南町〃	南　良樹
	森	来田〃	来田　節男
兵庫県信用漁業協同組合連合会長賞	一宮町	藤平〃	伊藤　昇
	浅野浦	浜栄〃	浜田　栄
	仮屋	新八〃	相田　孝
兵庫県漁業共済組合長賞	育波浦	竹昌〃	竹内　昌二
	湊	三共〃	築添　弘
	五色町	松田〃	松田　義隆
兵庫県内海漁船保険組合長賞	浅野浦	溝辰〃	溝尾　辰次
	丸山	海幸〃	三宅　啓一
	一宮町	松本〃	松本　稔

賞		漁協名	団体名	代表者氏名
淡路沿岸各市、町長賞	洲本市	炬口	炬口第二水産	竹岡喜代治
	津名町	塩田	松本〃	松本　久雄
	東浦町	仮屋	岡田〃	岡田　正道
	淡路町	森	丸竹〃	畠田　育扶
	北淡町	富島	丸福〃	富永　敏治
	一宮町	一宮町	高田〃	石上　宗一
	五色町	五色町	松下〃	松下　武夫
	西淡町	丸山	大栄〃	坂本伊差夫
	南淡町	福良	太利〃	太田　利夫
淡路水交会長賞		森	こも池〃	高崎　勝市
		仮屋	由仲〃	岡田　照明
		五色町	西川〃	西川　一彦
		室津浦	浜福〃	浜田　明義
		富島	恵〃	宗和　恵
		〃	仝〃	真木　政一
		室津浦	幸洋〃	南　数幸
		富島	淡島〃	内田　利雄
		阿那賀	伊毘のり組	坂口美之助

理事長に感謝
坂井理事長に感謝する集い開催
（財）兵庫県水産公害対策基金
―後任理事長に貝原県知事を選任―

基金設立当初より就任いただいた坂井理事長が昨年十二月二十四日の理事会を機にご勇退、後任に貝原新兵庫県知事が選任され、終了後「坂井理事長に感謝する集い」がオリエンタルホテルにて関係者約六〇名出席のもと催された。

集いは、伊藤専務の司会で進行、まず基金を代表して山田副理事長より「坂井前知事は、昭和四十年代半に多発した赤潮、PCB等公害問題を憂慮し、同四十八年の瀬戸内海環境保全臨時措置法制定に傾注する等、その貢献により公害も減り、同四十九年には当基金設立、理事長就任と基金育成、発展に多大のご尽力を願い感謝する次第です。」との感謝の言葉があり、宮本副理事長（㈱神戸製鋼所常務取締役）より記念品贈呈、市橋主任より花束が贈られた。

壇上の坂井前理事長

これに答え坂井前理事長は「当基金が軸となり漁業或は企業の方が、和気あいあいの中に瀬戸内海漁業を振興しようと情熱を傾けてくれ感謝します。我々の母なる瀬戸内海が生き生きとしていてくれるよう祈りつつ、これから県民の一員として、毎日、茅渟（ちぬ）の海を眺めながら過ごす幸いを思い、引続きご指導ご援助を賜りたい」と御礼の言葉を述べられ、深井理事（県農林水産部長）の音頭で乾杯し、出席者と親しく懇談された。

最後に、嘉本理事（神戸市農政局長）の音頭で万歳を三唱、満場の拍手の中、坂井前理事長が退席された。

北淡町において営漁計画（濃密地区）スタート

昭和60年度から開始されている地域計画営漁実践事業（濃密地区）を、61年度から2ケ年間実施することになった北淡町の事業実施状況を紹介する。

▼北淡漁業の概況▲

当地区は、播磨灘における最大の好漁場である、鹿ノ瀬、室津ノ瀬を主な漁場としており古くから漁業の盛んな地域である。

漁協は富島、浅野、育波、室津の四漁協で六七三人の組合員の人が漁業を行っている。

各漁業経営の内訳は別表のとおりであり、小型底びき網漁業、船びき網漁業、のり養殖が中心で、特にのり養殖は、冬期漁閑期の漁業として定着しており当地区の生産額の約65％を占めるまでになっている。

しかし、近年のり生産は全国的な生産過剰と、大量の在庫をかかえる一方、大型加工機導入をはじめ諸経費は増大している。反面、価格は低迷しており当地区の、のり養殖経営はきびしい現状にある。

主とする漁業種類別経営体数（北淡地区）

漁業種数	経営体数
小型底びき	139
刺網	8
その他の釣り	29
延縄	2
船びき	28
その他	5
のり養殖	131
計	354

58年兵庫農林水産統計年報より

また、漁船漁業においては、漁獲量の約90％が船びき網漁業によるイワシ、イカナゴで占められており、これら回遊性多獲魚種は毎年、資源変動が著しく、かつ加工対象魚種であるため、地元の加工能力により、非常に不安定な相場を呈している。これらの漁業状況に加えて明石海峡大橋が着工されるなど、北淡町はいろいろな面で不安定要素が多い地域である。

▼地域営漁計画▲

このようにきびしい状況下にある北淡の漁業を少しでも好転させるため、北淡四ケ浦漁業会では開始まもない営漁計画の制度に着目、地域の漁業を考え、良くしていく検討の場として事業を実施することに決定した。

まず、各漁協の参事を中心に準備会が結成され（後に、作業部会へと移行）、国・県への諸手続き、推進協議会の委員の選考等が行われた。

60年度に実施された地区は単一漁協で行われており、四漁協合同で実施するのは今回がはじめてであり、開始早々は難航した。

61年度の主な事業の内容として、漁業者が地域漁業をどう思い、どういう希望を持っているのかを把握するための全戸アンケート調査と、基幹漁業であるのり養殖の漁場調査を実施することになった。

アンケート調査については、北淡町全体で六四二枚が配布され、五二三枚が回収された。回収率は81％あり、北淡の漁業者がこの制度を理解し、その必要性を認めていることがわかる。

また、のり漁場調査も自分たちの漁場の状態を自分たちで把握することにより、北淡漁業の重要漁業であるのり養殖を少しでも良くしようとする意気込が見られる活動である。

結果はいずれも、まだまとめられてはいないが、自分たちの漁業は自分たちの手で良くしていくという北淡の漁業者の熱意がこの事業を通して発揮されることを希望するとともに、我々普及員も微力ながら助力をしたいと思っております。

（洲本農林水産事務所水産課）

「北方領土の日」記念県民大会

北方領土返還運動に関する国民世論は着実な盛り上がりを見せており、二月七日の「北方領土の日」を記念して全国各地で関連行事が行われました。

兵庫県においても、去る二月八日、ニューポートホテル（神戸市）において「北方領土の日」記念県民大会が開催されました。

この県民大会では、昨年八月、十一年ぶりに再開された北方領土墓参に参加した元居住者が故郷の島々に渡り、祖先の霊を心ゆくまでなぐさめた現地レポートを中心に作成された映画の上映や、色丹島の元住者で、返還運動に全力を傾けておられる西田貞夫氏による記念講演等が行われました。

第8回ひょうご海の子作文展 入賞者決まる

第8回ひょうご海の子作文展が兵庫県漁協婦人部連合会の主催で行われました。今年度は県下各地より98点もの応募があり、厳正な審査の結果、優秀作品が選ばれました。

今年の作品の特徴は子供らしい優しい、素直な、豊かな感性で書かれた心暖まる作品が多かったことでしょう。優秀賞の選考では、どの作品も甲乙つけがたく、審査員も頭を悩ませました。審査員からも「年々レベルが向上している。」との声があり、今後の作文展を期待させるものでした。

なお、全漁連会長賞並びに優秀賞受賞者は次のとおりです。

全漁連会長賞
「ぼくの体験」
室津小6年　高木　恒

全漁婦連会長賞
「だいすきなおとうさん」
柴山小1年　あだち　みなこ

県漁連会長賞
室津小3年　中橋　まゆ子
室津小5年　細野　由紀子
柴山小6年　渡部　千良子
沼島中3年　丸井　貴文

県漁婦連会長賞
香住小2年　まつい　ゆか
香住小4年　関　真子
坊勢小5年　池田　千和
室津小6年　中川　依子
南淡中2年　内海　千景

（全漁連会長賞受賞作品）

ぼくの体験

室津小学校六年　高木　恒

六年生の夏休み、ぼくは、お父さんの船にのりました。それは、将来、漁師になるためです。

午後四時半になると、お父さんと、ぼくの船が港を出ていきます。ぼくも、お父さんの後つぎになろうと思って、船に乗り、機械場の中に入って、お父さんがしていることをよく見ていました。

見ても、なにがどうなっているかが、今のぼくには、わかりません。だけど、船の「かじ」がどうしたら、どの方向に向くかが、わかります。

魚を取るまでに、いろいろな工夫がいります。一つは、海の深さ、どこに魚がいるかを探がす。お父さんは、長い間、漁師をしているので「感」がとてもすぐれていると思います。初めて、網を上げた時、ぼくは、すぐに手袋をはいて、木の平べったいのを探して、魚をよります。風がすごくあるので、船が左右にゆれて、気持が悪くなりそうです。だけど、何度も船に乗っているので、よいませんでした。

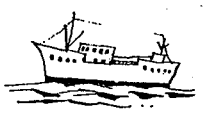
晩は、辺り一面まっ暗です。だから、見えるのは、船の灯りだけが見えます、すごくまっ暗です。ぼくは思った、今、船の中にぼくはいる、今ごろはお兄ちゃんも弟も、よくねむっているだろう。一生けんめい魚をよっている時は、ねむたいとは思いませんでした。午後四時半から、午前六時まで船にのりっぱなしです。

港に帰ったら、おじいさんとお母さんが、ぼくの帰りを待ってくれていました。

みんなが、「恒、船よいもせんと、ようがんばったなぁ」と、いってくれました。

帰ったらすぐお風呂に入って、ラジオ体操にいきました。これで「おき」にいったのは四回目です。「あみは、一日二十回ぐらいあげるんや」と、お父さんが教えてくれました。魚を売ったお金の中から、お父さんが、千円をくれました。

このお金のねうちが、ぼくには、よくわかった。お父さんは、毎日がんばって、家族のために働いているから、食べていけるんだなあと思います。お父さんは、家の「柱」なんだなとぼくは思います。お父さんを助けるために、ぼくが漁師になることをきめています。そのためには、船をそうじゅうするめんきょ証もとらねばなりません。無線のめんきょ証もいります。そのためには、学校の勉強もがんばって、やるつもりです。



兵庫JCC通信 今、農協・生協では

農業協同組合

香住町農協（長博組合長）は、一昨年七月に民宿部会を発足し、全国農協観光協会と提携して団体客の誘致をめざしています。

部会は民宿を経営する組合員七十軒（町内民宿二百二十軒）で構成、組織率は三二％で、約三千人収容できます。農協民宿は国鉄との提携で運賃二割引の特典もあり、これにより民宿の手配がスムーズになり、客の増加につながっています。

今は、マツバガニのシーズン（十一月～三月上旬）の真っ最中ですが、土、日曜でも小グループならまだまだ予約ができます。

なお、気になる値段は、カニすきエコノミー九千円（一泊二日）から相談に応じます。

また、但馬ビーフと海鮮料理も味わえます。

香住への交通は車で神戸から三時間、姫路から二時間半、列車では神戸から三時間半、姫路から三時間。

問い合わせ先は、香住町農協管理課、電話〇七九六三（六）一〇〇〇まで。

生活協同組合

県下の大学生協（関西学院大学生協・神戸大学生協・甲南大学生協・神戸商科大学生協・神戸外国語大学生協）では組合員（学生と教職員）のくらしと健康を守る活動の一環として共済事業を展開しています。

昭和六十一年四月から同九月までの半年間に、五大学生協が見舞い金を給付した。件数は百二十六件で、「病気」と「スポーツによる事故」がその大半を占めています。

「病気」は若さからくる不規則な生活が原因となっているものが多く、また「スポーツによる事故」ではアメフトやラグビー、テニス、サッカーなどのクラブ活動時のけがが多くなっています。そのほか、原付や車によるけがも目につきます。

一般に大学生協が共済事業を行なっていることはあまり知られてないようですが、このように十九歳から二十二歳の年齢層の事故や病気は意外に多く、生協の共済事業が学生生活のなかで果たしている役割は大きいといえます。

冬の突風

舞鶴海洋気象台　島田健司

冬期、北～北西の季節風が吹きつづくその間に、突然息の強い西寄りの風が吹き出すことがある。また、小春日和で海もないでいる日に、突然南～南西の強い風が吹き出すことがある。前者を寒気突風、後者を暖気突風と呼んでいる。

突風は、継続時間は短いものの、最大瞬間風速が、しばしば四〇㍍前後にも達するから、とくに小型の漁船は事故を起としやすい。

寒気突風は、強い西高東低の冬型の気圧配置で、日本海で季節風が強まり、大陸から強い寒気が南下してくる場合に発生する。気温が海面水温よりも二〇度近くも低いと、空気は、海水により下方から熱せられ強い対流活動を起す。その結果、上層の強い風が地表面にまでおり、しゅう雨（雪）とともに突風が吹く。

暖気突風は、気層の下の方で、暖かく湿った空気が、南～南西の風によって、上層に寒気がある所に送り込まれると大気が不安定となり対流をおこし、寒気突風と理じ理由で、突風が吹く。このように、寒気突風でも、暖気突風でも、強い対流活動によって起るので、雷を伴うことが多い。日本海西部の漁業者の間で、「一つ鳴り、一つ光りは、早手の兆」。「寒中の一つ雷雪おこし」。「一つ光り、一つ雷、油断できぬ。光って一時間後に大風」などの言葉が昔からいわれているが、突風直前の気象をよく表わしている。

ところで、気象台が発表する注意報や海上警報では「最大風速は陸上で一〇から一五㍍、海上で一五から二〇㍍、突風をともなう」の様な表現をしている。この場合、量的に示されているのは、十分間の平均風速の最大値であって、瞬間的に吹く、突風の最大値（最大瞬間風速）のことではない。しかしそのように受け取られている向きもあるので、ここで、明確にしておきたい。

注意報や海上警報でいう突風は、極めて短時間に吹くつよい風で、気象庁でいう瞬間風速にみあうものであり、突風の最大値は、最大瞬間風速ということになる。ふつう海上にあっては、突風の最大値は最大風速の一・三ないし一・四倍と考えてよい。従って「海上の最大風速一五ないし二〇㍍」というような場合には、最大三〇㍍近い突風の吹くことを考えておく必要がある。通常風速といっている平均風速は、地形の影響が大きく、起伏の大きい所では弱くなる傾向がある。しかし突風の最大値（最大瞬間風速）は地形の影響が小さく、陸上でも海上でもほとんど変らない。従って、気象資料のない海上でも、付近に陸上の気象観測所があれば、その瞬間最大風速値を用い、その値を一・三ないし一・四の値で割ることによって、海上の最大風速を推定することができる。

昨年、年もおしつまった十二月二十八日の午後、山陰沿岸の陸上および海上では、沿岸を東南東進した、小型ではあったが強い低気圧によって、強風と突風に見舞れた。国鉄余部鉄橋では、強風によって列車が転落するという事故が発生したが、沿岸の海域でも、小型船の事故が発生している。このとき、海上では、最大でどの位の風が吹いていたのであろうか。この日、松江、鳥取、豊岡、舞鶴の各気象台が観測した瞬間最大風速は、それぞれ二六・一㍍、三〇・五㍍、二六・一㍍、二五・七㍍であった。ほぼ二六から三二㍍である。低気圧の中心がごく近くを通過しているので、突風率も大きいと考え、これらの値を一・四で除すと、一八・六から、二二・一㍍となる。推測するに、海上では、最大風速が二〇㍍前後、それに三〇㍍前後の突風を伴なっていたものと思われる。

漁海況情報

昭和六十二年一月　兵庫県立水産試験場

海　況

（明石海峡周辺） 旬平均水温は上旬12・6℃、中旬10・7℃を示しており、平年に較べて上旬は1・8℃高目、また中旬は0・9℃高めに推移している。

（大阪湾西部・紀伊水道北部） 一月十九日の調査結果によると大阪湾の表層水温は10・9～12・2℃の範囲にあり、平年に較べて約0・4～1・2℃高目である。大阪湾では上層から下層までほぼ一様な水温を示しているが、紀伊水道北部では下層水温（50ｍ層）の方が1・0～2・0℃高目である。

（播磨灘） 一月六～七日に実施した調査の結果によると、表層水温は10・6～12・9℃の範囲にあり、平年に較べて1・5℃高目である。水温分布は典型的な冬型を示しており、北部で低く、南部で高い分布となっている。また、上下層の水温差はほとんどみられない。

漁　況

（小型底曳網） 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網ではメイタガレイ、アイナメ、イイダコなどが主に漁獲されている。メイタガレイは前年並か、それをやや上回る漁獲を示している。イイダコは昨年に較べて少なく、前年比は0・5程度である。昨年は秋～冬季にマダコが好漁であったが、今年はそのような現象はみられない。マコガレイは1月上旬頃を中心にほぼ産卵を終了した模様である。アイナメの漁獲量は昨年に較べて少ない。鳴門海峡および紀伊水道北部では主にエビ類が漁獲されているが、漁模様は全般に低調である。

（一本釣・曳縄釣） 明石海峡およびその周辺海域ではアイナメ、スズキ、メバルなどが主に漁獲されている。アイナメは昨年に較べてやや少ないが、スズキは前年比1・0～1・5を示している。また、曳縄釣ではヒラメが一日一隻当り1～3㎏程度漁獲されている。今年は水温が例年よりも1・5℃高いため、依然としてサワラ、サゴシ、タチウオが滞留しており、旗釣によるサワラ、サゴシ漁が継続して行われている。しかし、量的には少なく、一日一隻当りサワラ、サゴシが3～7㎏、タチウオは2～5㎏である。紀伊水道北部のマダイは前年同期の七割程度の漁模様である。

漁況情報調査結果表　調査地：明石浦　調査日：昭和62年1月26日
主漁場：大阪湾北西部および播磨灘東部

漁業種類	隻数	主魚種	一隻日平均 漁獲量（㎏）	一隻日平均 前年比	キロ単価（円）	備考
小型底曳網	30	メイタガレイ	10—15	1.0	1,000—5,000	大阪湾
		マコガレイ	5—6	0.8	1,000—1,500	
		メバル	5—15	0.6	1,000—1,800	
		エビ類	3—10	0.4	1,500—2,500	
		クルマエビ	1—2		8,000	
		アナゴ	5—10	1.3	1,000—1,500	
		アカナ	15—30		300—2,500	
		イイダコ	5—10	0.5	700—1,500	
	30	メイタガレイ	15—20	1.2	1,000—5,000	播磨灘
		マコガレイ	4—5	0.6	1,000—1,500	
		メバル	5—20	0.6	1,000—1,800	
		エビ類	5—6	1.0	1,500—2,500	
		アナゴ	10	2.0	1,000—1,500	
		イイダコ♀♂	10—30	0.5	1,500 600	
一本釣	35	アイナメ	3—8	0.5	1,500—2,500	
	30	スズキ	5—10	1.5	1,000—1,800	
	5	メバル	3—5		2,000—3,000	
延縄	2	アナゴ	50		1,200	

漁況の特徴：メイタガレイは昨年同期比1.0～1.2でほぼ前年並。アナゴは昨年に較べてやや多い。マコガレイは1月上旬頃を中心にほぼ産卵を終了した。一本釣のスズキは昨年よりやや多いが（前年比1.5）、アイナメは前年の約2分の1。

生活改善通信

特産物を生かした食生活の改善を!!

西淡町湊地区では、昭和六十年度から新郷土料理開発普及事業に取り組んでいます。

この事業は、農林水産省の助成を受けて行う生活改善普及事業の一つで、県下三地区をモデルに三か年計画によって実施しています。

目的は、地域特産物（新鮮な野菜・海産物等）を生かして、新しい料理や加工食品を作ることによって、農水産物の有効利用とその生産を振興し、農漁家の健全な食生活を定着させようというものです。

湊地区は、淡路島の西海岸に面し、かつて港町として栄えた地区です。全住民六百九十八世帯、うち漁家は六十一世帯（九％）、農家は百二十二世帯（一七％）で、サラリーマン、小売商、その他あらゆる職業が営まれている地区です。

漁業は、カレイ、アジ、スズキ、シラスなどの魚獲を主体とする漁船漁業と、のり、わかめの養殖漁業が営まれています。一方、農業は、米、たまねぎ、レタス、ブロッコリー、みかん、牛乳を主体に生産されております。

では、この地区を対象として取り組んできた活動内容を述べます。

一、生活改善グループの育成

この事業を契機として、生活改善グループの育成に着手しました。事業の推進母体である湊地区新郷土料理開発事業協議会に婦人リーダーの参加を位置づけ、町・農協・漁協の協力により、婦人リーダーの委員を選任することができました。

そして、この婦人リーダーが中心となって、漁家や農家へ働きかけ、三つのグループが誕生しました。

漁家の「ちどり会」農家の「みどり会」若妻の「花すみれ会」のグループは、地域特産物を利用した料理講習会や、加工食品の堀り起しとその開発に取り組んでおります。

また、グループ員が生産した新鮮な野菜や海産物を持ち寄り、月二回の朝市を開き、漁家・農家の良さを生かした豊かで楽しい暮しづくりのため毎日頑張っています。

二、全世帯意向調査結果

湊地区を対象に「暮しと食生活に関する意向調査」を実施しました。

回答者は、三十才代から四十才代の主婦が過半数を占め、この事業に対する強い関心が寄せられました。（回答者四百八十八名）

調査結果の主なものは次のとおりです。

㈠ 食生活上の問題点

食生活上の問題点について漁家の実態をみると、「忙しさに追われて簡単な食事になっている」が四十二％と最も多く、次いで「調理方法を多く知らない（二十五％）「家族の好き嫌いが多い」（二十一％）「食費が十分でない」（十七％）となっており、食生活改善の必要性がわかりました。

㈡ 調理時間の問題点

毎日の食事の中で、特に夕食の調理時間についてみると、「三十分未満」が五十％を占め、「六十分以上」は十六％に過ぎませんでした。

国民栄養調査（昭和五十六年）によると、夕食の準備に要する時間別栄養素摂取量は、調理時間六十分以上になると、不足しがちなカルシウム、ビタミンA、B_2が満されているという結果が報告されており、夕食の準備には、六十分以上はかけてほしいものです。

㈢ 魚介類・野菜の摂取状況

三日間に食べた魚介類の種類をみると、三種類の世帯が二十七％、二種類が二十％となっており、また、六種類以上食べた世帯は漁家が三十％と高く、農家、非農家は十％代となっており、漁家以外の世帯での魚介類の摂取量が少ないことがわかりました。

一方、野菜の摂取量をみると、一日のうち、八種類以上摂取している世帯は十二％と非常に少なく、また、三種類以下の世帯は、漁家三十六％、農家三十％、非農家二十五％と多く、地区全体として野菜の摂取量の少ないことがわかりました。

――○――

今後は、意向調査結果を初め、地区住民の意思を把握しながら、漁業と農業との連携の下で食生活の改善と地域の活性化に取り組んでいきます。

南淡路農業改良普及所

生活メモ

上手に減塩するには

最近われわれの食生活の中で塩分の摂り過ぎが問題になっている。三大死因の一位が脳卒中から癌になったとはいえ、依然として上位を占めている。厚生省は一日の食塩摂取量を十グラムと決めているが、アメリカではこの半分、五グラムという厳しい制限をしている。塩の摂り過ぎは老人性痴呆につながるとも言われ、老齢化社会に向かってゆゆしき問題である。

そこで、上手に減塩する方法をご紹介しよう。先ず塩そのものについて、精製塩でなく、塩化ナトリウムの少ないものを使うこと。最近は輸入の岩塩（双目状でマグネシウムやカリウム等他のミネラルを含む）も売られており、これを使うと塩味がまろやかになる。岩塩挽きも用意しておくと、食卓でも使える。

酸味を上手に使うこと。酢の味があると、塩味が薄くても食べられる。酢があると魚や肉の臭味がなくなり、秋にはすだちやかぼす等もあり、オレンジも含めて柑橘類の酸味を利用するとよい。

次に、和・洋・中のスパイスやハーブ類を使うこと、山葵や山椒、辛子、コショー、ナツメッグ、パセリ、タイム、五香等を使えば味も引き立ち、塩を控えられる。

ダシやスープを即席でなく上手にとり、この味を生かすこと。ある程度の蛋白質の量と味があれば生理的に自然に塩を摂らなくなる。

純日本型の食生活をくずすこと。日本料理の味のベースは、味噌、醤油等塩味が主体のものばかりであり、この他に漬物や塩干物も塩が強いので使う量に注意すること。

以上の方法で塩の使い方に気を付ければ、高血圧や腎臓病の方にも、また、健康な人も血圧を正常に保つ意味で望ましく、成人病の予防にもなる。

海区漁業調整委員会だより

十一月十九日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、火光利用漁業の光力について（継続）

委員で地元地区ごとにまとめられた沿岸漁業者の意見が報告され、検討がなされたが、引続き協議することになりました。

十二月二十二日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を県中央労働センターで開催

一、岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区入会協定について（継続協議）

当海区より選出の委員代表から、関係地区毎に集約された意見についての報告が行われ、本年は、従来の協定内容と同様の案をもって同連合海区委員会に臨むことと決定された。

番組のお知らせ

〝こちら海です〟

2月の放送予定（毎週日曜日、正午より サンTVで放送中）

2月15日

「寒さを吹きとばす〝水中綱引き行事〟」

福井県美浜町日向

日向では日向川へ飛びこんで綱を切るという〝水中綱引き〟という全国でもめずらしい伝統行事が一月十五日に行われました。今回はこの行事を通して、日向地区と村に生き、村を愛する若者達の姿を紹介します。

2月22日

「冬の流れに身をまかせ……」京都府丹後町間人

厳冬の漁閉期の今、漁師さんはどのようにして冬が去り行くまで過ごすのだろうか？

丹後町間人を紹介するとともに、漁閉期の漁師町の人々を紹介します。

3月1日

「中央卸売市場の一日」

兵庫県神戸市

神戸市中央卸売市場が兵庫県の拠点市場として昭和七年に開設して以来五十五年。生産者と消費者をつなぐパイプ役として、果した役割は多大なものがあります。昭和六十二年の今年、新たに生まれ変わる市場。今回は、正しく私達の生活に欠かせない食生活を守る市場の一日をセリ人を通して紹介していきます。

3月8日

「串本の春を呼ぶ水門祭」和歌山県西牟婁郡串本町大島

約千七百年前、神功皇后が通夜島に立ち寄られ、島民が船を出して、送迎、航海の無事を祈ったという古事にちなんだ神事、水門祭が例年二月十一日に行われます。この日は、和船のボートレース「櫂天馬競漕」がクライマックスとなり紀南の春を告げます。今回は水門祭でにぎわう串本・大島の様子をお伝えします。

3月15日

「音海の元気な子供達」

福井県高浜町音海

音海は、福井県高浜町の内浦半島の先端に位置している小さな漁村です。そこには、一年生から六年生まで全学童合わせてもわずか十三人という音海小学校があります。今回はこの小さな小学校に通学している元気な子供達の姿を紹介すると共に、海で働くお父さん達の仕事を通して音海に住む人々の姿を紹介します。

兵庫県の3か月予報

大阪管区気象台発表

この期間、前半は暖冬傾向が続きますが、後半には、寒のもどりがあるでしょう。

二月　冬型の気圧配置は長続きせず、穏やかな日が多い見込みです。

三月　天気は周期的に変わるでしょう。

四月　天気は周期的に変わり、大きく崩れる日や晩霜のおりる日がある見込みです。

漁協一代（その十七）作花英治

漁連の十八年(一)

但馬漁連とは？③

但馬海区では一〇月二二日、竹野浜漁協に、津居山港（丸谷藤一組合長）竹野浜（山本匡組合長）柴山港（大西三造組合長）香住町（守山源太郎組合長）余部（友田源輔組合長）三尾（服本源右衛門組合長）浜坂（岡田信組合長）諸寄（谷口岩松組合長）居組（岡本久五郎組合長）計九漁協の組合長他専務、参事等が複数出席し、設立相談会、設立準備会が開かれ、但馬漁連設立を決立し法令に適合するよう手続が執られた。（一一月二日設立認可、一一月一〇日登記完了）一一月二〇日水研香住支所に第一回役員会を開催、かねての筋書に従い会長（守山源太郎）副会長（大西三造）理事（丸谷藤一、西上重弐、安達吉造、谷口岩松、岡本久五郎）監事（山本匡、脇本源右衛門）を再確認して、事務所を日水研支所内に置き、県水産業会但馬支部職員の引き継ぎ、その他業務発足に必要な諸事項を議定して事実上の創立総会としたのである。しかし但馬漁連の滑り出しは全く茨の道を歩くようなものであった。何分統制経済から自由経済に移行の過渡期にあったので大変苦汁を嘗めねばならなかった。石油はまだ統制されていたので、香住に所在した県水産業会油槽所を中核にして、清算段階に入った県水に代り石油事業の受皿となった豊島商店（元県水石油部長、後の内海漁連参事となる豊島作治郎氏が応急的に石油公団の取引相手となるため個人名使用）の石油を各単協が購入するので何とか商売ができたが、漁網、ロープ類を主体とする漁業用資材は漁連設立後次第に統制が緩和。やがて廃止されて各商社の外交員が各単協に出入りはじめていたので、漁業者の中には「漁連という余分の関所を通らなくともよいではないか／関所を通ればその手数料だけ価格が高くなる！」と公言するものが現れ、従って漁連役員会では「資材の取扱は最少限度にとどめよとの少数意見（柴山漁協）と「香住、柴山の如き大組合は単独取引が可能であろうが、水揚高の少い弱小組合は、九つの大小組合が協同の力すなわち漁連の看板で商業資本に対抗して行かねばならない。従って漁連の基盤強化のために積極的に協力すべきで取引は漁連を通すべきだ」との多数意見が常に対立した。守山源太郎会長は温厚な思慮深い性格であったので、役員会会場を九つの漁協に廻り持ちし、当該組合の役員全員の参与を求め、漁連育成の大乗的理解を要請したものであった。作花も屢々漁連の諸会議に陪席して多数意見の育成論は十分肯定しながらも柴山内部の世論を心ならずも代弁せねばならなかった。漁師の鼻息の荒い上げ潮の時代であったから柴山漁協内部の漁連批判論を無視するわけには行かず、苦しい心境の連続であった。しかしそうは言いながらも漁連は石油統制廃止を機に津居山、柴山、竹野、余部、美方郡四組合に大小のタンク貯蔵所を建設、津居山、柴山、香住二港の石油配給業務は漁連が直営、他の箇所では配給業務を当該単協に委託した。諸資材も手数料は単協から徴せず商社からリベートを出させるような方法も用いたりして唯一の経済事業購買業務はとにかく独り歩きしていたし、航路標識の整備、その他漁村及び漁業の指興上の国、県費導入促進は大方漁連の名で実施していたので但馬漁連の存在価値はようやく業界の評価を受けはじめていた。その頃に作花は漁連に着任したのである。

（次号につづく）

シンボルマーク決まる

北摂・丹波の祭典

来年開かれる北摂・丹波の祭典、ホロンピア'88の開催期間は、昭和63年4月17日から、11月6日までとなっています。

なお、このホロンピア'88のシンボルマークが決まりました。

ホロンピア'88
北摂・丹波の祭典

詰将棋

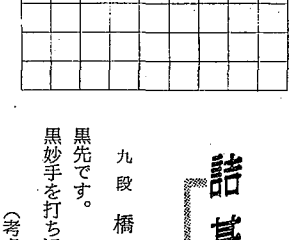
八段　佐瀬勇次

ヒント

初手に好手があります

（考慮十分六級程度）

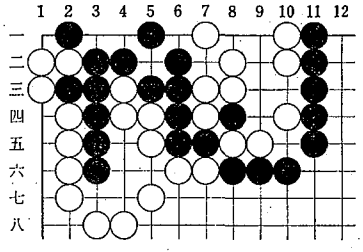
▲持駒　飛



詰碁

九段　橋本宇太郎

黒先です。

黒妙手を打ち活きて下さい。

（考慮十分初段程度）